

Dual Energy CT を用いた腰椎定量評価のための検討

に関する臨床データの研究利用に関するお願い

研究の概要・背景

2021年2月にGEヘルスケアジャパン社製「Revolution CT」を導入した。それにより、Dual Energy CT撮影が可能となった。1回の撮影で2つの異なるエネルギーを同時に取得することでスペクトルデータを取得でき、撮影後に様々な解析を行うことができる。なかでもDual Energy CTを用いた解析の1つに物質弁別解析があり、任意の密度画像を作成することができ、密度画像から任意の物質の密度値が得られる。脊椎の骨内の水密度値を用いて脊椎圧迫骨折など定量評価が可能だが、正常椎体の密度値の傾向を検討している国内の研究はない。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

本研究はDual Energy CTから算出した密度値が年齢や性別によってどう推移するのか検討する。病変の有無は臨床診断結果を用い正常椎体において水密度値、および脂肪密度値を測定し、計測した密度値に対して男女間での差や加齢による影響を評価する。

対象者・期間

2021年9月3日から2023年9月30日までに当院において腹部～骨盤のまたは腰椎の撮影に対してDual Energy CTの単純撮影された患者全員を解析対象とする。

2023年4月25日現在、Dual Energy CTを施行した対象患者は128名である。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院 放射線科

担当： 富田 みほみ

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)